



## 機能の設定

- [電話アダプタ構成ユーティリティ \(1 ページ\)](#)
- [電話アダプタ構成ユーティリティを使用した電話機能の設定 \(3 ページ\)](#)
- [コール転送の設定 \(3 ページ\)](#)
- [選択的なコール転送の設定 \(4 ページ\)](#)
- [スピードダイヤルの設定 \(5 ページ\)](#)
- [補足サービスの設定 \(6 ページ\)](#)
- [固有呼び出し音の設定 \(7 ページ\)](#)
- [呼出音設定 \(7 ページ\)](#)

## 電話アダプタ構成ユーティリティ

[電話アダプタ構成ユーティリティ (Phone Adapter Configuration Utility) ] Web ページを使用して、一部の電話機能を構成またはカスタマイズできます。このページの URL、ユーザ ID およびパスワードは管理者から与えられます。

[構成ユーティリティ (Configuration Utility) ] ページでは、ネットワークおよび管理設定のほか、ファームウェアバージョン、シリアル番号、メモリ使用量などの ATA に関する基本情報を表示できます。

多くのユーザは、[電話アダプタ構成ユーティリティ (Phone Adapter Configuration Utility) ] ページを使用して、短縮ダイヤルやコール転送などのいくつかの基本機能を設定します。これらの機能を設定するには、次の表を参照してください。

[電話アダプタ構成ユーティリティ (Phone Adapter Configuration Utility) ] Web ページから構成する電話機能を次の表に示します。

表 1: 構成ユーティリティ機能

| 特長                | 説明   |
|-------------------|--|
| コール転送および選択的コール転送。 | <p>電話機でコール転送が有効になっている場合に、コールを受信する番号を指定します。[設定ユーティリティ (Configuration Utility)] ページを使用すると、より複雑なコール転送機能 (回線がビジー状態の場合の動作など) をセットアップできます。</p> <p>詳細については、<a href="#">コール転送の設定 (3 ページ)</a> または <a href="#">選択的なコール転送の設定 (4 ページ)</a> および <a href="#">電話アダプタ構成ユーティリティを使用した電話機能の設定 (3 ページ)</a> を参照してください。</p> |
| 短縮ダイヤル。           | <p>回線に電話番号を割り当てると、その相手にすばやくコールをかけることができます。</p> <p>詳細については、<a href="#">スピードダイヤルの設定 (5 ページ)</a> および <a href="#">電話アダプタ構成ユーティリティを使用した電話機能の設定 (3 ページ)</a> を参照してください。</p>   |
| 補足サービス。           | <p>コール待機、応答不可、着信 ID などの機能を構成します。</p> <p>詳細については、<a href="#">補足サービスの設定 (6 ページ)</a> および <a href="#">電話アダプタ構成ユーティリティを使用した電話機能の設定 (3 ページ)</a> を参照してください。</p>   |
| 固有呼び出し音           | <p>電話番号または回線に特定の呼び出し音を割り当てることができます。</p> <p>詳細については、<a href="#">固有呼び出し音の設定 (7 ページ)</a> および <a href="#">電話アダプタ構成ユーティリティを使用した電話機能の設定 (3 ページ)</a> を参照してください。</p>   |
| 呼び出し音の設定          | <p>コールの保留中やコールバック中など、特定の状況に特定の呼び出し音を割り当てることができます。</p> <p>詳細については、「<a href="#">呼出音設定 (7 ページ)</a>」および「<a href="#">電話アダプタ構成ユーティリティを使用した電話機能の設定 (3 ページ)</a>」を参照してください。</p>   |

# 電話アダプタ構成ユーティリティを使用した電話機能の設定

[電話アダプタ構成ユーティリティ (Phone Adapter Configuration Utility)] ページを使用して、短縮ダイヤル、コール転送、応答不可などのいくつかの基本機能を設定します。

## 始める前に

機能を設定する前に、対応する設定ページを確認する必要があります。

## 手順

- ステップ 1** ユーザとして電話アダプタ構成ユーティリティにサインインします。
- ステップ 2** [音声 (Voice)] > [ユーザ (User)] を選択します。
- ステップ 3** 機能ペインに移動し、フィールドを設定します。
- ステップ 4** [保存 (Save)] をクリックします。

## コール転送の設定

電話機の回線にかかってきたコールを別の電話番号に転送することができます。コール転送は、電話回線ごとに設定します。コール転送が有効でない回線にコールがかかってきた場合、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。

コールを転送するには、次の 2 つの方法があります。

- すべてのコールを転送する
- 電話機がビジー状態の場合、または応答がない場合など、特殊な状況でコールを転送する

コール転送は、[構成ユーティリティ (Configuration Utility)] ページの [音声 (Voice)] タブから設定します。次の表の情報をガイドとして使用してください。設定を入力したら、[保存 (Save)] をクリックしてリビジョンを保持します。

コールが転送されると、コールが新しい番号に転送される前に短い呼び出し音が聞こえます。

次の表に、[構成ユーティリティ (Configuration Utility)] ページの [音声 (Voice)] タブから構成するコール転送設定を示します。

表 2: コール転送の設定

| フィールド名                          | 説明                           | 使用上のガイドライン  |
|---------------------------------|------------------------------|---|
| [不在転送宛先 (Cfwd All Dest) ]       | すべてのコールの転送の宛先。<br>デフォルト設定：空白 | すべての着信コールを別の電話番号に転送する場合に使用します。転送されたコールを受信する番号を入力します。                      |
| [無応答時転送宛先 (Cfwd No Ans Dest) ]  | 無応答時の転送宛先。<br>デフォルト設定：空白     | 最初の選択肢が応答しない場合に、コールを別のの人に転送する場合は、[不在転送宛先 (Cfwd All Dest) ]と一緒に使用します。      |
| [話中転送宛先 (Cfwd Busy Dest) ]      | 話中転送宛先。<br>デフォルト設定：空白        | 最初の選択肢が別のコール中である場合に、コールを2番目の人に転送する場合は、[不在転送宛先 (Cfwd All Dest) ]と一緒に使用します。 |
| [無応答時転送遅延 (Cfwd No Ans Delay) ] | 無応答時の転送遅延。<br>デフォルト設定：20     | 無応答時転送がトリガーされるまでの遅延（秒単位）。   |

## 選択的なコール転送の設定

常にコールを転送する最大8つの電話番号のリストを作成できます。これらの番号のいずれかからコールが発信されると、呼び出し音が聞こえ、コールが新しい番号に転送されます。

コール転送選択発信者設定を入力する場合は、任意の1桁の数字に一致する?を使用するか、または数字の範囲に一致する\*を使用できます。次に例を示します。

- 1408\* : 電話番号が1408で始まる場合、コールは対応する宛先に転送されます。
- 1512???1234 : 電話番号が1512で始まり1234で終わる11桁の番号である場合、コールは対応する宛先に転送されます。

また、最後に受信したコールを転送したり、最後のコールをブロックしたりすることもできます。

選択的コール転送は、[構成ユーティリティ (Configuration Utility) ] ページの [音声 (Voice) ] タブから設定します。次の表の情報をガイドとして使用してください。設定を入力したら、[保存 (Save) ] をクリックしてリビジョンを保持します。

次の表に、[構成ユーティリティ (Configuration Utility) ] ページの [音声 (Voice) ] タブから構成するコール転送設定を示します。

表 3: 選択的なコール転送の設定

| フィールド名                                 | 説明                        | 使用上のガイドライン   |
|--|---------------------------|--|
| [コール転送選択的1-8発信者 (Cfwd Sel1-8 Caller) ] | コール転送選択的発信者<br>デフォルト設定：空白 | リダイレクトする電話番号を入力します。<br>電話番号がエントリと一致すると、コールは対応するコール転送選択的宛先に転送されます。    |
| [コール転送選択的1-8宛先 (Cfwd Sel1-8 Dest) ]    | コール転送選択的宛先<br>デフォルト設定：空白  | 転送されたコールを受信する電話番号を入力します。   |
| [コール転送最終発信者 (Cfwd Last Caller) ]       | コール転送最終発信者<br>デフォルト設定：空白  | 最終発信者の電話番号を入力します。<br>この発信者は、コール転送最終を使用してコール転送最終宛先にアクティブに転送されます。      |
| [コール転送最終宛先 (Cfwd Last Dest.) ]         | コール転送の最終宛先<br>デフォルト設定：空白  | コール転送最終発信者の宛先。   |
| [最終発信者をブロック (Block Last Caller) ]      | -<br>デフォルト設定：空白           | 最終発信者の番号。この発信者は、[最終発信者をブロック (Block Last Caller) ]サービスによってブロックされます。   |
| [最終発信者を受け入れる (Accept Last Caller) ]    | -<br>デフォルト設定：空白           | 最終発信者の番号。この発信者は、[最終発信者を受け入れる (Accept Last Caller) ]サービスによって受け入れられます。 |

## スピードダイヤルの設定

特定の電話回線を使用して、頻繁にコールする相手に短縮ダイヤルすることができます。

短縮ダイヤルは、[構成ユーティリティ (Configuration Utility) ]ページの[音声 (Voice) ]タブから設定します。次の表の情報をガイドとして使用してください。設定を入力したら、[保存 (Save) ]をクリックしてリビジョンを保持します。

次の表に、[構成ユーティリティ (Configuration Utility) ]ページの[音声 (Voice) ]タブから構成する短縮ダイヤルの設定を示します。

表 4: スピードダイヤルの設定

| フィールド名                        | 説明              | 使用上のガイドライン           |
|-------------------------------|-----------------|----------------------|
| [短縮ダイヤル2-9 (Speed Dial 2-9) ] | -<br>デフォルト設定：空白 | 頻繁にダイヤルする電話番号を入力します。 |

## 補足サービスの設定

メインコール機能に加えて、ATAはいくつかの補足機能をサポートしています。これらのサービスはすべてオプションであり、管理者がこれらのサービスを無効にしている場合は利用できない場合があります。場合によっては、サービスプロバイダーがATA以外の手段を使用して同様の機能をサポートすることがあります。

補足サービスは、[構成ユーティリティ (Configuration Utility) ] ページの [音声 (Voice) ] タブから設定します。次の表の情報をガイドとして使用してください。設定を入力したら、[保存 (Save) ] をクリックしてリビジョンを保持します。

次の表に、[構成ユーティリティ (Configuration Utility) ] ページの [音声 (Voice) ] タブから構成する補足サービスの設定を示します。

表 5: 補足サービスの設定

| フィールド                   | 説明                                    | 使用上のガイドライン  |
|-------------------------|---------------------------------------|---|
| [CW設定 (CW Setting) ]    | コール待機。<br>デフォルト設定：[はい (Yes) ]         | コール中に着信コールを通知する場合は、有効にします。                              |
| [CIDをブロック (Block CID) ] | 発信者IDをブロックします。<br>デフォルト設定：[いいえ (No) ] | 発信者IDが有効になっている電話機から、ユーザが自分の電話番号をブロックできるようにします。          |
| [ANCをブロック (Block ANC) ] | 非通知着信をブロックします。<br>デフォルト設定：[いいえ (No) ] | コール情報を表示しないコールをブロックできます。                                |
| [DND設定 (DND Setting) ]  | 応答不可。<br>デフォルト設定：[いいえ (No) ]          | 電話に出たくない場合は、サイレント (DND) を使用して電話機をサイレントにし、着信コール通知を無視します。 |

| フィールド                             | 説明  | 使用上のガイドライン  |
|-----------------------------------|---|---|
| [CID 設定 (CID Setting) ]           | 発信者 ID の生成。<br>デフォルト設定 : [はい (Yes) ]        | 電話番号、名前、その他の説明テキストなど、発信者の識別情報を電話ディスプレイに表示する場合に有効にします。 |
| [CWCID 設定 (CWCID Setting) ]       | コール待機中の発信者 ID の生成。<br>デフォルト設定 : [はい (Yes) ] | この機能は、待機中のコールに ID を割り当てます。                            |
| [固有呼び出し音 (Dist Ring) ]            | 固有呼び出し音。<br>デフォルト設定 : [はい (Yes) ]           | 同じ電話に異なる番号を設定し、番号ごとに異なる着信音を鳴らす場合は、この機能を有効にします。        |
| [メッセージ受信 (Message Waiting) ]      | -<br>デフォルト設定 : [いいえ (No) ]                  | ボイスメールメッセージの通知を受け取る場合は有効にします。                         |
| [CONFICID 設定 (CONFICID Setting) ] | デフォルト設定 : [はい (Yes) ]                       | -   |

## 固有呼び出し音の設定

異なる着信音を選択して、電話機で着信コールを通知する方法をカスタマイズできます。ただし、この機能にはスクリプトと呼ばれる特定のタイプのコンピュータコードが必要です。この機能を有効にする場合は、管理者に問い合わせてください。

## 呼出音設定

必要に応じて着信音をカスタマイズできます。たとえば、着信コール用に1つの呼び出し音を設定し、コールバック通知用に別の呼び出し音を設定できます。

呼び出し音の設定は、[構成ユーティリティ (Configuration Utility) ] ページの [音声 (Voice) ] タブから設定します。次の表の情報をガイドとして使用してください。設定を入力したら、[保存 (Save) ] をクリックしてリビジョンを保持します。

次の表に、[構成ユーティリティ (Configuration Utility) ] ページの [音声 (Voice) ] タブから構成する呼び出し音の設定を示します。

表 6: 呼出音設定

| フィールド名                                     | 説明               | 使用上のガイドライン                            |
|--|------------------|---------------------------------------|
| [デフォルト呼出音 (Default Ring) ]                 | -<br>デフォルト設定 : 1 | 着信コール用に 8 種類の着信音のいずれかを選択できます。         |
| [デフォルト CWT (Default CWT) ]                 | -<br>デフォルト設定 : 1 | コール待機用に 8 種類の着信音のいずれかを選択できます。         |
| [保留リマインダ着信音 (Hold Reminder Ringtone) ]     | -<br>デフォルト設定 : 8 | 保留中のコールに 8 つの異なる着信音のいずれかまたはなしを選択できます。 |
| [コールバックリング (Call Back Ring) ]              | -<br>デフォルト設定 : 7 | コールバック通知用に 8 種類の着信音のいずれかを選択できます       |
| [コール転送着信音スプラッシュ長 (Cfwd Ring Splash Len) ]  | -<br>デフォルト設定 : 0 | コール転送時の呼び出し音の長さを 0 ~ 10 秒の範囲で入力します。   |
| [コールバック着信音スプラッシュ長 (Cblk Ring Splash Len) ] | -<br>デフォルト設定 : 0 | コールバック通知の呼び出し音の長さを 0 ~ 10 秒の範囲で入力します。 |
| [VMWI 着信音スプラッシュ長 (VMWI Ring Splash Len) ]  | -<br>デフォルト設定 : 0 | ボイスメール通知の呼び出し音の長さを 0 ~ 10 秒の範囲で入力します。 |



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。